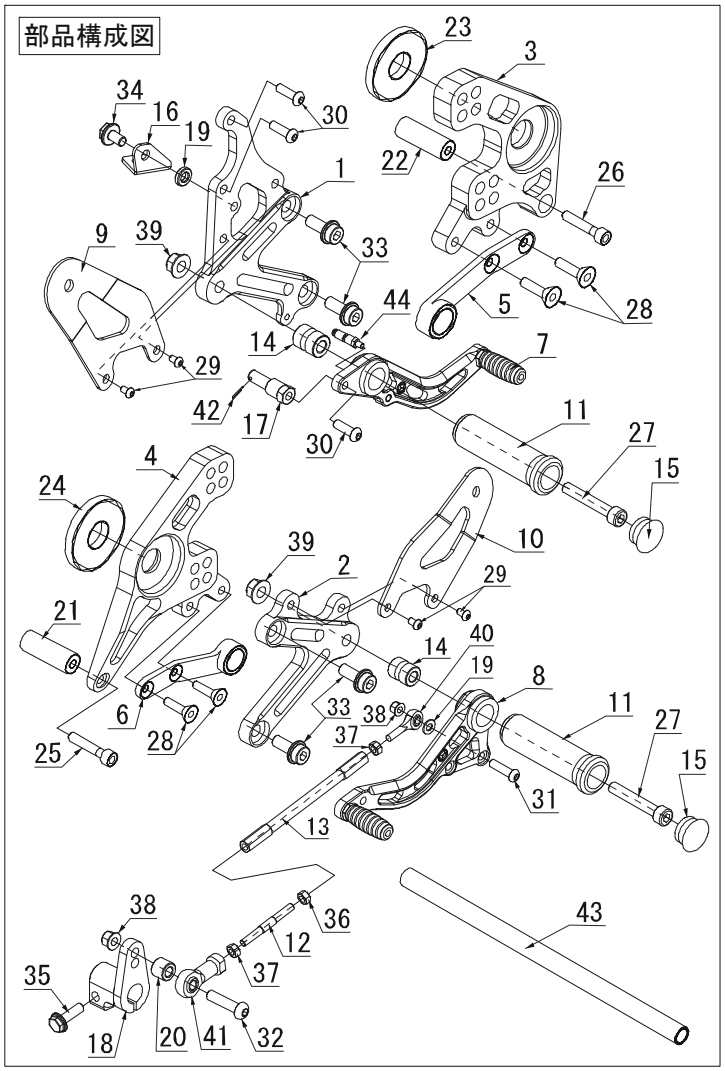
MORIWAKI BACK STEP KIT BLACK

ホンダ　ファイヤーストーム（VTR1000F）

取扱説明書

⚠ 作業される前に必ずお読み下さい

【パーツ一覧】



番号	パーツ番号	品名	個数	単価(税別)
1	50011842	ステッププレート RH	1	¥8,900
2	50011841	ステッププレート LH	1	¥8,200
3	50101842	ステップホルダー RH	1	¥9,800
4	50101841	ステップホルダー LH	1	¥12,000
5	50041842	マフラーステー RH	1	¥4,900
6	50041841	マフラーステー LH	1	¥4,900
7	5006B01B	ブレーキペダル	1	¥9,800
8	5006B02C	チェンジペダル	1	¥9,800
9	5003B62R	ガード RH, ステップ	1	¥4,200
10	50030B1L	ガード LH, ステップ	1	¥4,200
11	50050003	ステップバー	2	¥3,300
12	0024M060	スタッドボルト 6x6Lx60	1	¥1,500
13	0024165B	チェンジロッド 6x165	1	¥2,600
14	00131620	ベアリングカラー	2	¥740
15	0515000B	キャップ, ステップバー	2	¥400
16	00090014	ステー,ストップスイッチ14	1	¥750
17	50280738	ブレーキマスターピン	1	¥1,520
18	00660001	チェンジアーム	1	¥7,300
19	B1206030	カラーφ6.2xφ12xL3	2	¥480
20	B1206100	カラーφ6.2xφ12xL10	1	¥480
21	B1406266	カラーφ6.2xφ14xL26.6	1	¥650
22	B1406396	カラーφ6.2xφ14xL39.6	1	¥720
23	B5020090	カラーφ20xφ50xL9	1	¥1,500
24	B5020050	カラーφ20xφ50xL5	1	¥1,500
25	CB06040U	キャップボルト6x40	1	¥75
26	CB06055U	キャップボルト6x55	1	¥100
27	CB08045U	キャップボルト8x45	2	¥125
28	SB06015U	テーパーキャップボルト6x15	4	¥45
29	BB06008U	ボタンキャップボルト6x8	4	¥50
30	BB06020U	ボタンキャップボルト6x20	3	¥70
31	BB06025U	ボタンキャップボルト6x25	1	¥70
32	BB06035U	ボタンキャップボルト6x35	1	¥70
33	972010-08020	フランジキャップボルト8x20	4	¥125
34	FB06010U	フランジ六角ボルト6x10	1	¥70
35	FB06020D	フランジ六角ボルト6x20	1	¥70
36	NT060000	ナット6	1	¥25
37	NT06000L	ナット6L	2	¥50
38	FU060000	フランジロックナット6	2	¥100
39	U308000U	ロックナット3種8	2	¥100
40	00JAML06	ピロボールオス6L	1	¥2,500
41	00JAFL06	ピロボールメス6L	1	¥2,500
42	WP20120U	割りピン 2x12	1	¥30
43	50901840	サステインシャフト	1	¥3,400
44	50091872	スプリングフックピンペダル	1	¥890

150821

【製品名】　ホンダ ファイヤーストーム(VTR1000F) バックステップキット　ブラック
（Ｐａｒｔｓ．Ｎｏ　０５０６０－２Ｂ１５８－００）

【仕様】
《適応車種》　車種名　ＳＣ３６
《マフラー》　ＳＴＤマフラー、モリワキマフラー
《ポジション》
０[㎜] バック、 ２７[㎜] アップ
０[㎜] バック、 ３９[㎜] アップ
１２[㎜] バック、 ２７[㎜] アップ
１２[㎜] バック、 ３９[㎜] アップ
《その他》
逆チェンジ対応
タンデムステップ使用可能
サイドスタンドで取付け可能

⚠注意事項

① 本製品の取付け作業には、ピボットシャフト、リヤブレーキ周りの脱着作業があります。
　このため、作業はショップに依頼することをお勧めします。
② 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
③ 作業する時は、けが防止のため、軍手を着用して下さい。
④ エンジンを運転する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
⑥ ステップ取付け時には、プレートの脱落、マスターシリンダーの緩みなどのトラブルが発生しないように各部の締め付けを十分確認して下さい。
特にブレーキ周りの取付け不良は、大事故を引き起こす可能性があります。
⑦ 装着後、ステップが各部と干渉していないか必ず確認して下さい。
⑥ 本製品は出荷時に仮締めしてある部品がありますが、取付け時には、必ず本締めして下さい。
⑦ 走行中の振動により、ボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。
　特に転倒時には緩みやすくなりますので必ず点検をして下さい。
⑧ 本製品は、基本的にスタンダード車両を対象としています。取付け車両にマフラー、スイングアーム、フレーム等の改造箇所がありますと装着できない場合があります。（上記マフラーを除く）
⑨ ストリートでは、逆チェンジ仕様で走行しないで下さい。
⑩ 不正な取付けによるステップ破損等の返品は、お受けしておりませんのでご了承下さい
⑪ 転倒歴のある車両では、フレームのステッププレート取り付け部分が曲がり、取り付かないケースがありますのでご注意下さい。

【準備物】
〈工具〉　４、５、６[㎜]ヘキサゴンレンチ各１本（６[㎜]はロングタイプが必要）
１０[㎜]メガネ、スパナ各２本
１２[㎜]スパナ、メガネ各１本
２２[㎜]メガネ１本
２７[㎜]ソケットレンチ１本
スプリングプラー、トルクレンチ、プラスチィックハンマー、ラジオペンチ
〈その他〉　軍手、ネジ止め剤、グリス、ウエス

【締め付けトルク】

ピボットシャフト ： ９３．１[N･m]、 ９．５[ｋｇｆ･m]、 ６８．７[ｌｂｗ･ｆｔ]

標準締め付けトルク

ネジ径	N･m	ｋｇｆ･m	ｌｂｗ･ｆｔ
M６ボルト、ナット	９．８	１．０	７．２
M８ボルト、ナット	２１．６	２．２	１５．９

【作業工程】

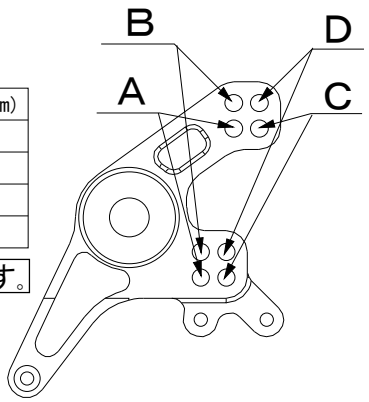
《１．ポジションを決定する。》

ポジションを決定します。
それぞれのポジションにおいて使用するホルダープレートの取付け穴は右図のようになります。　（図１）

図１

	バック(㎜)	アップ(㎜)
A	０	２７
B	０	３９
C	１２	２７
D	１２	３９

この図は、ﾁｪﾝｼﾞ側です。



《２．スイングステップの取付け》

ピボットシャフトの取外し

①車体左側のＳＴＤピボットナットを外します。
ピボットシャフトのねじ部にサステインシャフトを手でねじ込みます。

② サステインシャフトを最後までねじ込んだ後、必ず １／４～１／２回転戻してサステインシャフトとピボットシャフトとの間に、ガタをつくって下さい。
固くねじ込んだままだと、シャフトが入っていかない場合があります。

③サステインシャフトをプラスティックハンマーで、 ピボットシャフトが車体から抜けるまで軽く叩き込んでいきます。

④ピボットシャフトが車体から完全に抜けたら、サステインシャフトをピボットシャフトから外します。

⚠注意　サステインシャフトは、まっすぐ叩いて下さい。　また、途中で叩いても入らない場合は、無理に叩かず１度抜いてガタやグリスの有無を確認後、作業して下さい。

⚠警告　車体が倒れない様に注意して下さい。

右側ステップの取付け

① 流用するＳＴＤ．パーツをスイングステップに付け替えます。（右図参照　図２）　（マスターシリンダー、　ストップスイッチ、　スイッチスプリング、　リターンスプリング、　ボルト ８×３２、　ワッシャー、　グロメット、　グロメットカラー、　フランジナット）

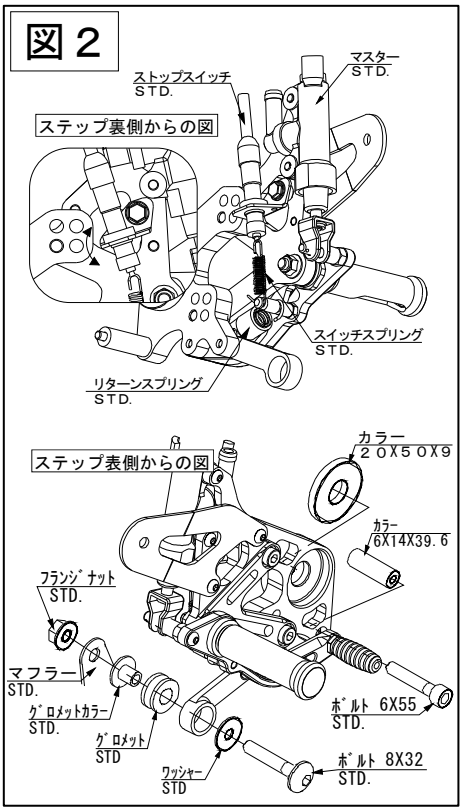
②車体にステップを取り付ける。

③ストップランプスイッチを調整する。
（ペダルを作動させてストップランプが付くか確かめる。）
ストップスイッチの調整範囲が合わない場合は、
スイッチステーの角度を微調整して合わせて下さい。

④各部が干渉していないかチェックする。
ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

⚠注意　各部に、干渉や締め忘れが、無いか充分にご注意下さい。

図２



ピボットシャフトの取り付け

① ＳＴＤピボットシャフトにグリスを薄く塗布し、サステインシャフトに手でねじ込みます。

②サステインシャフトを最後まで締めた後、必ず１／４～１／２回転戻してサステインシャフトとピボットシャフトとのガタをつくって下さい。

③プラスティックハンマーでピボットシャフトのフランジ部が、Ｒ．ホルダープレートに当たるまで軽く叩いて入れていきます。

④サステインシャフトをＳＴＤピボットシャフトから外します。

⚠注意 **サステインシャフトは、まっすぐ叩いて下さい。 また、途中で叩いても入らない場合は、無理に叩かず１度抜いてガタやグリスの有無を確認後、作業して下さい。**

⚠警告 **車体が倒れない様に注意して下さい。**

左側ステップの取付け

①ＳＴＤ.ステップ、及び チェンジアーム類を外します。

②流用するＳＴＤ.パーツをスイングステップに付け替えます。（右図参照 図３） （ボルト ８×３２、 ワッシャー、 グロメット、 グロメットカラー、 フランジナット）

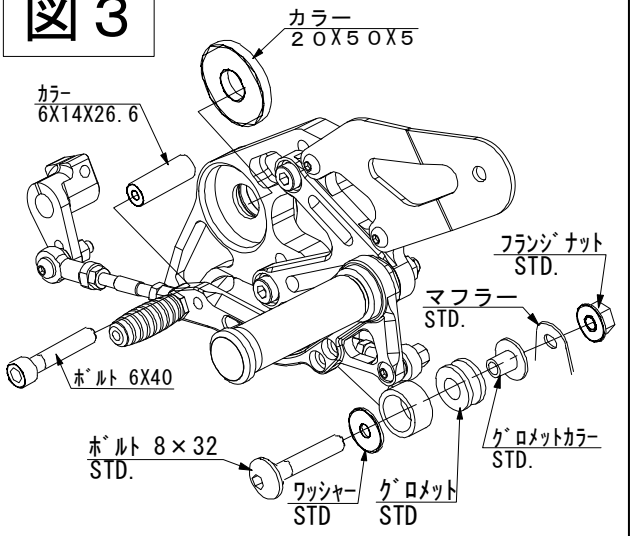
⑤車体にステップを取り付ける。

⑥ピボットナットを締め付ける。

⑦各部が干渉していないかチェックする。
ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

⚠注意 **各部に、干渉や締め忘れが、 無いか充分にご注意下さい。**

図３



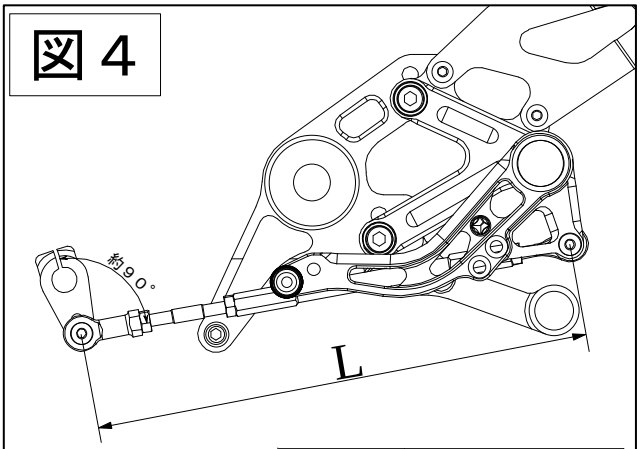
チェンジロッドの調整

チェンジロッドをねじ込み、チェンジペダルの高さを調整します。ピロボールへのねじ込み量が足りない、あるいは多すぎて好みの高さを得られない場合には、チェンジアームの角度を変えて、再度チェンジロッド長さを調整して下さい。

⚠警告 **タイロッドボルトとチェンジロッド、両側ピロボールとのねじ込み量をそれぞれ最低６ｍｍ （６回転）以上確保して下さい。 ６ｍｍ以下になるとネジ山を損傷し、チェンジロッドが外れる恐れがあり大変危険です**

注意 **チェンジロッドＡｓｓｙ両端のピロボールを固定する際、ピロボールの動きを妨げない位置に固定して下さい。**

図４



取付け穴	Ｌ（長さ）の目安
A	２４７．５mm
B	２４７mm
C	２５９mm
D	２６２．５mm

150821

《３．確認》

３．１　試走前の確認

① 干渉している箇所はないか。（特に可動部）
② 可動部がスムーズに動くか。
③ 各ボルト、ナット類の締め忘れがないか。
④ リヤブレーキが正常に効くか。
⑤ ストップスイッチが正しく点灯するか。

３．２　走行後の確認

① 各速へスムーズにシフトできるか。
② 各ボルト、ナット類の緩みがないか。

【メンテナンスについて】

ベアリング、ピロボール部の円滑な動きを妨げないように、潤滑には十分気を付けて下さい。
振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、定期的に増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

（株）モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
HP http://www.moriwaki.co.jp